

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立南市岡小学校学校協議会

1 総括についての評価

「安全・安心な教育の推進」「未来を切り拓く学力・体力の向上」「学びを支える教育環境の充実」の3つの目標については、どれも概ね達成しているところは評価できる。経年調査結果で達成できているところは今後も大いに伸ばし、達成できなかったところは、次年度の対策をしっかりと立てることが大事である。ICTの活用など次年度も引き続き実践してもらいたい。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：安全・安心な教育の推進

いじめに対する取り組みでは、6月・12月のいじめアンケートでいじめ事案があった場合は、即座に聞き取りをして対策に当たった。さらに、日ごろから「心の天気」で児童の気持ちをつかむなどして児童が安心して登校する学校づくりに努めてきた。「自分にはよいところがあると思う」のアンケート回答では、90%の児童が肯定的に回答した。これは、道徳の学習や日ごろの学校生活の中で互いに認め合った結果で、自己肯定感が高まってきたことが推察される。

年度目標：未来を切り拓く学力・体力の向上

学力に関しては、経年調査の結果からどの学年も昨年より大阪市の平均に近づいており、引き続き学力向上を図ってほしい。体力合計点では男子が大阪市平均を3ポイント上回っており、女子は大阪市平均より0.1ポイントだけ低かった。今後もトップアスリート事業や区役所主催のインストラクター派遣事業を行っていき、体力向上をめざしてほしい。

年度目標：学びを支える教育環境の充実

ICTを活用した授業づくりを積極的に進め、調べ学習やカメラ・動画による情報収集、タイピングによるローマ字入力の練習など、学習者用端末を積極的に活用した学習を進めてきた。図書室の活用では、ボランティアや主幹学校司書による読み聞かせや図書館開放、国語科の並行読書に努め、読解力を高める学習を行った。

3 今後の学校運営についての意見

運営に関する計画をもとに、学力や体力・運動能力の向上に対する取組を積極的に行い、本校の実態を踏まえた教育活動の推進を図ってほしい。地域が努力できることは協力していくので、学校が子ども達にとって、安心して過ごせる場であり続けられるようお願いする。